



ご家族・お友達をお誘いのうえ お気軽にご来館ください！



## 読書週間記念行事



### 講演会

## 「朗読の楽しみ」～音の楽しみ～

講師 二宮 さよ子さん(女優)

内容 講演:「語る」ことの意味、お話ボランティアの取り組みなど。  
朗読:井上靖「わが母の記」

日時 平成23年10月29日(土) 13:30～15:00

会場 沼津市立図書館4階視聴覚ホール

入場料 無料

定員 200名 (定員になりしだい締め切り)

申込み 10月6日(木)9:30より電話にて受付



### 企画展

## 朗読への招待～「わが母の記」を読む～

郷土ゆかりの作家「井上靖」の原作小説を元に、沼津市出身の映画監督 原田眞氏により「わが母の記」が映画化されました。

そこで、講演会に合わせ、語りの系譜、原作者「井上靖」、映画「わが母の記」のロケ地風景等を紹介いたします。

期間 平成23年10月22日(土)～11月6日(日)

会場 沼津市立図書館4階展示ホール

入場料 無料

◎広報ぬまづ・館内ポスター・チラシ等もあわせてご覧ください

◎駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

## 図書館カレンダー

平成23年 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

平成23年 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

平成23年 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ …休館日

開館時間 火・水・木 …………… 午前9時30分～午後6時30分  
金 …………… 午前9時30分～午後9時  
土・日・祝日・振替休日 …… 午前9時30分～午後5時

# 地区センター図書室をご利用ください



市内にある下記の地区センターおよび公民館内には図書室があります。  
 利用者カードは市立図書館と共通で、一人10冊まで借りることができます。  
 各図書室には大人向けの小説や実用書、子ども向けの絵本や読み物などがあります。

また本年度は国からの交付金により、お年寄りや目の不自由な方のための大活字本や、旅行ガイドブック、さらに冠婚葬祭や日常生活に必要な参考図書などを充実させていく予定です。

ご希望の本が図書室に無く、市立図書館にあるときは下記の各地区センターおよび公民館の図書室を通して借りることもできます。くわしくは職員にお尋ねください。  
 ぜひ市民の身近な図書室としてご利用ください。



## ＜地区センター・愛鷹公民館 図書室一覧＞

地区センター・公民館	所在地	電話番号	貸出時間 (月曜日、祝日の翌日を除く)
原地区センター	沼津市原1200-3	055-966-0084	9:30～11:30 13:00～16:30
愛鷹公民館	沼津市東原358-1	055-966-5301	9:00～16:30
大岡地区センター	沼津市大岡2357-1	055-924-0299	9:00～16:30
大平地区センター	沼津市大平2197-1	055-934-3980	9:00～17:00
西浦地区センター	沼津市西浦立保22-1	055-942-2700	9:00～17:00
浮島地区センター	沼津市平沼375-1	055-968-1322	9:00～17:00
金岡地区センター	沼津市江原町3-1	055-924-5070	9:00～17:00
第四地区センター	沼津市吉田町20-1	055-933-4411	9:00～12:00 13:00～18:00
静浦地区センター	沼津市獅子浜34	055-933-2510	火～土曜日 9:00～17:00 日・祝日 9:00～16:00
第五地区センター	沼津市五月町15-1	055-925-8686	9:00～17:00
片浜地区センター	沼津市大諏訪46-1	055-964-0926	10:00～11:30 13:00～16:30
第三地区センター	沼津市下香貫字楊原750-4	055-934-8003	9:00～21:00

※月曜日が祝日の場合は月・火曜日が休館です。

# 本はともだち ② 大人になる前にぜひ、読んでおきたい本～女の子編



小学校高学年は、いわゆる「読書離れ」が始まると言われる年代です。それもそのはずで、高学年にもなると、子ども達は大変忙しい毎日を過ごしています。学校の委員会活動、塾、ならいごと。家に帰れば、おもしろいテレビに、ゲーム、そして宿題など。とてもじゃないけど、本なんて読んでいる時間はないっ！と言われそうです。そして、もう一つの要因は、今まで読んでいたような本では物足りなく感じられる年頃になるからだと思います。子ども達は絵本を卒業すると、多くの子ども達に人気のシリーズものの本を読む傾向があります。そういう本には飽きてきて、違う本を読みたいと思っても、何を讀んだらいいのかよく分からない、選べない、ということもありそうです。

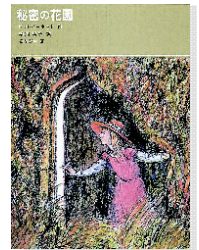
本には、考え方や生き方を変える力を持つものが、たくさんあります。そういう本から得た感動が、人生を支えてくれる場面もあるかもしれません。特に、これから思春期を迎える時期に、良い本に巡り会えることは、大きな意味を持つように感じます。

今回は、小学校高学年の女の子向けの本を何冊かご紹介します。

## 秘密の花園

F. H. バーネット／作 猪熊 葉子／訳 堀内 誠一／画 福音館書店

主人公は「つむじまがりのメアリーさん」と自他共に認める女の子。他のバーネットの物語に出てくるような、けなげな女子なんかではありません。それがこのおはなしの一番の魅力かと思います。誰からも愛されることなく育った少女が、「秘密の花園」の力を借りて他人を思いやることができるようになっていきます。



## 赤毛のアン

モンゴメリ／原作 村岡 花子／訳 ポプラ社

日本ではじめて『赤毛のアン』を訳した村岡花子訳の本をお薦めします。アンシリーズは、この本の後もアン の成長に伴い続いていきますが、想像力が豊かでおしゃべりな女の子であるアンが魅力的に描かれています。そして『赤毛のアン』は、この日本で特に人気が高いのだそうですよ。



## テラビシアにかける橋

キャサリン・パターソン／作 岡本 浜江／訳 偕成社

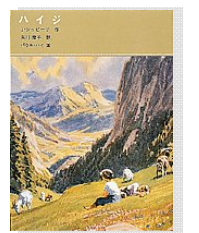
主人公の少年ジェシーは絵の好きな男の子です。そのジェシーの家の近くにレスリーという女の子が引っ越してくることから物語は始まります。二人は森の中にまほうの国、テラビシアを作ります。そこに二人はお城を作り、支配者になるのです。ところが……。著者のパターソンの息子がモデルの、現実にあった事件がもとになっています。



## ハイジ

J・シュペーリ／作 矢川 澄子／訳 パウル・ハイ／画 福音館書店

アニメで有名な「アルプスの少女ハイジ」ですが、原作は『ハイジ』というタイトルです。あのアニメは良い作品ですが、原作も素晴らしいです。特にこの完訳版を読むと、はじめはアニメのイメージが頭に残りますが、読み始めてしばらくすると気にならなくなります。よく考えられた文章や構成により物語にひきこまれます。



ご紹介した本のほかにも、良い本がたくさんあります。一生、心に残るような本に、たくさん出会えるようにお手伝いします。是非、児童カウンターでご相談ください。

## ～レファレンスコーナー～

# 近世・近代の沼津と地震

今年3月11日に発生しました東日本大震災におきましては被害にあわれた皆様に心からお見舞いを申し上げます。このような悲惨な被害をもたらす大地震は日本では頻繁におきています。

今回は、私たちが住む沼津市の江戸時代後期以降に発生した主な大地震について調べてみました。

### 安政東海地震 1854年11月4日

この地震は、沼津市を襲った大きな地震の一つで、嘉永7年11月4日(11月27日に安政に改元)に起こりました。このときの地震で、あの戸田で造船が行われるきっかけとなったディアナ号が大破しました。津波の高さは、伊豆西海岸で4～6m、内浦・江の浦湾では6～7mあったと伝えられています。

大岡南小林では、100m幅が200mにわたって、10m以上地盤が落ち込みました。現在でも、ここは地震窪と呼ばれています。

さらに、翌日には、安政南海地震に襲われマグニチュード8.4と安政東海地震と同程度の地震に襲われました。

### 安政江戸地震 1855年10月2日

翌年の10月には、マグニチュード7程度の直下型地震が江戸を襲いました。この地震によって沼津藩主水野家の江戸屋敷も大きな被害を受け屋敷も大きく損壊していました。被害は江戸を中心に大きく、死者は、武士・町人合わせて7000人以上といわれています。

### 関東大震災 1923年9月1日

有名な関東大震災では、沼津市も少なからず影響をうけました。沼津市の被害は、全壊 93 件、半壊 236 件、死者2名、負傷者11名を出しました。

### 北伊豆地震 1930年11月26日

この地震は、丹那断層を震源とするマグニチュード7.3の地震です。震度はおよそ6で、函南町周辺の被害が甚大でした。沼津市域では、震源に近い大平で被災戸数54戸、死者1名、家屋全壊1戸、半壊53戸の被害が出ました。

### 東南海地震 1944年12月7日

三重県沖でマグニチュード7.9の地震があり伊豆西海岸に津波が到来しました。

当時は戦争中であったので、軍部によって地震の被害については隠されました。このため、正確な被害は、現在でも把握されていません。

大地震は上のように定期的に発生しています。いわゆる東海地震は、安政の大地震以来発生していません。このため東海地震は明日おきてもおかしくないといわれています。日ごろの備えが必要です。

各個人が防災意識を持ち、これによって、少しでも地震の被害を抑えることが大切です。

図書館には、ハザードマップや災害・防災などの多くの本がありますので、ご活用ください。

### 参考文献

『天地鳴動』 沼津市明治史料館

『見る読む沼津歴史年表』 羽衣出版

『地震の事典』 朝倉書店